

地方創生

「若い世代が家を持てるまち」をコンセプトに、地域資源を活かしながら、人口減少を抑制し、小諸における地方創生をめざします。

「小諸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を改定しました

◆総合戦略改定の概要

「地方創生」の取組みにおいては、各自治体の人口の将来展望（目標人口）を「地方人口ビジョン」で示し、その実現に向けての目標、施策の基本的方向性や事業を提示する「地方版総合戦略」を策定します。

市では、昨年10月に小諸市版総合戦略として「小諸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を決定した際に、これを「暫定版」とし、その後に進められる平成28年度予算編成等を踏まえ、総合戦略の改定を行うこととしました。今回、3月議会における平成28年度予算の成立を受けて、新規事業の反映等の改定を行いましたのでお知らせします。

※総合戦略の計画書につきましては、市役所1階の展示・情報コーナーか市ホームページでご覧いただけます。

▼問い合わせ先 企画課 行政経営係

新規事業を紹介します

◆山岳高原観光等推進事業

観光地域づくりの舵取り役となる「小諸版DMO」を構築するとともに、小諸市の立地や風土、農業等の特長を活かした商品開発や販売、情報発信の拠点、地域ブランドの確立、県や県内の地域間連携等により、誘客の促進や雇用の拡大をめざします。

・追加重要業績評価指標
着地型旅行商品数…120商品

◆千曲川ワインバレー

推進事業

広域で取り組む「信州ワインバレー構想」の具現化に向け、地域ワインバレー協議会活動の実施、地酒・ワインテキストブックを活用した受入れ態勢の整備等を実施します。

・追加重要業績評価指標
市内ワイナリー数…2件



参加と協働のまちづくりをめざして

～自治基本条例の実践～

「地区懇談会」を継続し、「めざす地域の姿」を具体化していきます

昨年度、多くの市民の皆様の参画により策定した「小諸市第5次基本構想」には、旧町村単位の10地区ごとに開催した「地区懇談会」での検討を踏まえた、『めざす地域の姿(地域別まちづくり方針)』が盛り込まれています。

これは、地域課題の解決や、暮らしやすい魅力ある地域づくりなどについて、行政だけでなく、その地域に暮らす人々が自ら考え、実践するための「拠り所」となるものです。

いよいよ平成28年度から、「めざす地域の姿」を実現するための取組みがスタートします。12年後の地域をどのようにしていくのか、実践の段階においても「地区懇談会」を開催し、地域の皆様と議論しながら進めていきます。

◆地区懇談会にご協力をお願いします

地区懇談会は、昨年度に引き続き各地区の実情にあわせ、各区役員をはじめ、民生児童委員、育成会、消防団、PTA等の地域内各種団体関係者を中心に参画していただく予定としています。

地区懇談会では、それぞれの地区の「めざす地域の姿」で示された地域のお宝（資源）の活用方法や、課題の改善方法等について、地区としてどう取り組んでいくのかなどを議論していただき、事業として実現可能なものから具体的な検討をしていきます。また、懇談会での検討内容を地区内に周知し、地区内のより多くの皆様からの意見をお聞きしたいと考えています。

▼問い合わせ先 企画課 市民協働推進係